

## 1 令和3年度事業報告

### I 経営環境

令和3年度の長崎県営バス観光株式会社を取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症の影響を引き続き大きく受け、年間を通して大変厳しいものとなりました。

長崎県の経済状況については、日銀長崎支店は、本年4月発表の長崎県の金融経済概況で「長崎県の景気は、感染症の影響による厳しさが残る中、持ち直しのペースが鈍化した状況が続いている。個人消費は、飲食を中心に弱さが残り、全体として持ち直しのペースが鈍化した状況が続いている。観光は、依然として低い水準ながらも、改善している。」と見ており、依然コロナ禍による影響が続いています。

また、3月の長崎県・金融短期経済観測調査では、全産業の業況判断D.I（景気が「良い」－「悪い」、%ポイント）は△1.2となり、前回調査の先行き△2から悪化しました。

長崎県の観光動向調査によれば、昨年の主要宿泊施設の延べ宿泊者数（3,353千人、前年比+4.3%）、主要観光施設入場者数（2,887千人、前年比△0.2%）ともに大きな回復は見られませんでした。

このような状況の中、当社においては、

- ・観光収入では、小学校の修学旅行等は、コロナ対策を講じたことや旅行先を県内に変更するなど教育現場の要望に対応することにより一定の成果を上げることができました。一方、よか余暇ツアーの企画を新たに行いましたが、コロナ感染拡大により中断を余儀なくされるなど、一般団体・個人旅行とも振るいませんでした。
- ・広告事業では、バスの運休などもあり前年度並みとなりました。
- ・売店事業では、引き続きターミナル利用者の減少などから減収が継続しており、営業時間の短縮等で対応しました。
- ・ターミナル事業では、県交通局からの受託事業として運営を行いました。

今期は、減収、増益となりましたが、国等のコロナ禍に伴う各種支援金や雇用調整助成金などを最大限活用することにより、雇用の維持を図りました。

## II. 経営実績

### (1) 全体収支実績

令和3年度の営業収益は154,679千円(対前年比7,440千円の減少、95.4%)  
営業費用は164,046千円、(対前年比44,694千円の減少、78.6%)となり、  
この結果、9,367千円の営業損失が生じました。

さらに、営業外収益51千円、特別利益15,944千円を加算した結果、税引前当期純利益6,629千円、当期純利益387千円となりました。

### 営業収益、営業費用、営業利益の実績

|      |              |
|------|--------------|
| 営業収益 | 154,678,965円 |
| 営業費用 | 164,046,079円 |
| 営業利益 | △ 9,367,114円 |

### 各事業の収入実績

(単位：千円)

| 事業別      | 旅行事業   | 広告事業   | 売店事業   | 手荷物    | 軽食     | 駐車場    |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| H. 31 実績 | 48,665 | 39,198 | 42,254 | 5,550  | 2,640  | 6,196  |
| H. 2 実績  | 30,878 | 33,797 | 25,486 | 2,971  | 1,440  | 5,936  |
| R. 3 実績  | 41,017 | 34,294 | 24,903 | 3,464  | 2,400  | 6,121  |
| 対前年比     | 132.8% | 101.5% | 97.7%  | 116.6% | 166.7% | 103.1% |

(ターミナル業務受託事業を除く)

### (2) 事業別実績

#### (イ) 営業部観光課

旅行事業の斡旋手数料収入は、41,017千円で、前年と比較して10,139千円の増収(対前年比132.8%)となりました。

内容としましては、教育旅行は県観光連盟の修学旅行補助金などの効果もあり増収、山歩きツアーについても昨年と比較すると収入増となりましたが、それ以外の一般団体、カウンターの売上は、引き続き新型コロナウイルスの影響により減少した状況で推移しました。

山歩きツアーの一部と、よか余暇ツアー及び、壱岐・対馬フリープランについては、一旦は申込が入りながらも「ふるさとで心呼吸キャンペーン」等の助成金制度が中断し、催行中止となるという状況が繰り返され、中途半端な実施となりました。これらの中止となった各種ツアーが、集客どおり実施されていれば、予算に到達できている可能性も高かったと思われます。

(ロ) 営業部広告課

広告事業の総売り上げは、34,294千円で、前年と比較して497千円の増加(対前年比101.5%)となりました。

これは、新型コロナウイルス感染拡大および緊急事態宣言の発令により一定(高速バスおよびリムジンバス関連の広告)の落ち込みがあったものの、側面ミニラッピング広告および後部ウインドステッカー広告のキャンペーンによる大幅な増加が主な要因であります。

(ハ) 総務部総務課

売店事業の売上は24,903千円で、前年と比較して、583千円の減少(対前年比97.7%)となりました。

主な売上内訳は、【切手、はがき等：16,623千円】、【土産：2,470千円】、【たばこ：1,967千円】、【ジュース類：987千円】、【弁当：974千円】、【菓子：544千円】、【雑誌：229千円】、【自動写真：112千円】などです

手荷物事業の売上は、3,464千円。(同比493千円の増加)(同比116.6%)となりました。

軽食は、令和2年11月からラーメン店の営業を開始しました。売上は、2,400千(同比960千円の増加)(同比166.7%)となりました。

駐車場の売上は、6,121千円。(同比185千円の増加)(同比103.1%)となりました。